

科 目 名
建 築 施 工 Building Construction Work

2 年 後期 2 単位 必修

嘉 戸 通 幸

【科目区分】

学士課程共通の学習効果との対応：1-(2)，2-(5)
建築学科教育カリキュラムとの対応：

学習・教育目標	JABEE基準 1 の(1)の知識・能力	コース名	必修／選択の別	授業時間
B	—	建築総合コース	必修	22.5時間
	B 5	建築計画コース		
		建築構造コース		
	d-1			

【概 要】

建築施工は多数の複雑な専門工種の施工技術と、これを統合して一つの建築物にまとめる施工管理技術によって成り立っている。「建築施工」では建築生産の現状、施工計画、施工管理および維持保全の基礎、また地業工事、土工事および躯体工事など建築施工の全般について学ぶ。

【到達度目標】

- (1) 建築生産、施工計画および施工管理の基本的なことを理解する。
- (2) 維持保全の基本的なことを理解する。
- (3) 地業工事および土工事の施工技術の基本的なことを理解する。
- (4) 鉄筋コンクリート工事および鉄骨工事の施工技術の基本的なことを理解する。

【授業計画】

テ ー マ	内 容
① 概要説明	「建築施工」の概要を説明する。我国の建設産業について述べる。
② 建築生産	建築生産の流れおよび施工形態について説明する。
③ 維持保全	維持保全の概要について説明する。
④ 工事の発注と契約 (1)	発注形態について説明する。
⑤ 工事の発注と契約 (2)	施工者の選定について説明する。
⑥ 工事の発注と契約 (3)	見積および工事契約について説明する。
⑦ 施工計画 (1)	管理と計画および事前調査について説明する。
⑧ 施工計画 (2)	ネットワーク工程表について説明する。
⑨ 施工計画 (3)	足場設備および安全設備計画について説明する。
⑩ 地業工事	既製杭工事、場所打ちコンクリート杭工事および地盤改良工事の概要について説明する。
⑪ 土工事 (1)	各種の根切り工法について説明する。
⑫ 土工事 (2)	各種の山留め壁の工法について説明する。
⑬ 鉄筋コンクリート工事 (1)	鉄筋コンクリート工事および鉄筋工事の基本的なことについて説明する。
⑭ 鉄筋コンクリート工事 (2)	型枠工事およびコンクリート工事の基本的なことについて説明する。
⑮ 鉄骨工事	鉄骨工事の基本的なことについて説明する。
⑯ 定期試験	学生自身による自己評価

【授業方法】

- 1) 板書による説明を行う。
- 2) 必要に応じてレポートを課す。

【学習到達度の評価】

- 1) 授業中に適宜質問を行い、理解状況を把握する。
- 2) 定期試験により、授業全体の理解度を把握する。
- 3) 定期試験終了後、試験内容などの講評を行う。

【評価方法】

- 1) 定期試験の結果で評価する。
- 2) 全授業終了後に学生自身による自己評価を行う。

【関連科目】

- 1 年：建築材料
- 2 年：コンクリート工学
- 3 年：建築施工管理、建築測量

【教科書・教材】

必要に応じてプリントを配布する。

【参 考 書】

青山良穂・武田雄二 著「建築施工」学芸出版社
建築施工教科書研究会 編著「建築施工 教科書」彰国社

【履修上の注意】

- 1) 本講義と「建築施工管理」は関連があるので、両方を受講することが望ましい。
- 2) この講義では板書を行うので、ノートをよく取ること。
- 3) 単に、講義での知識の習得を目指すだけでなく、身近にある建築工事現場にも関心を持って貰いたい。

【オフィスアワー】

適宜、昼休み (12:00～1:00) に研究室にて講義内容に関する質問を受付ける。